

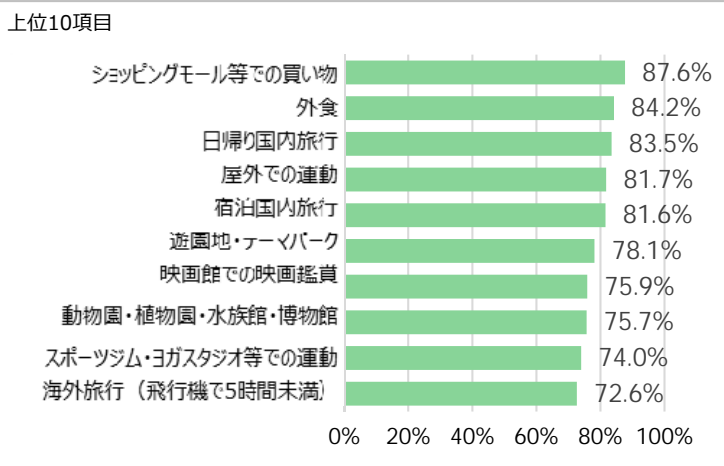
**DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査  
(第3回 新型コロナ影響度 特別調査)**

**アジア新興2市場（インド・ベトナム）編**

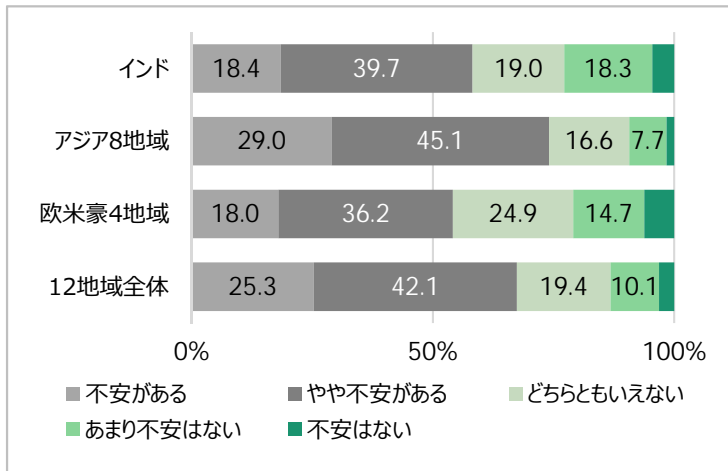
# インド –本調査結果のポイント–

- 足下のレジャー意向は相対的に強く、短距離の海外旅行意向も強い。
- 新型コロナの感染リスクに対する不安度については、インドは、アジアより欧米豪の水準に近い。
- 新型コロナワクチン接種率は相対的に低いが、新型コロナ収束後の海外旅行意向は非常に強い。
- 次に海外旅行したい国・地域としては、シンガポールがトップで、次いでオーストラリア。日本は3位で、関心は高い。
- 日本で体験したいことは、「自然や風景の見物」「桜の観賞」「雪景色鑑賞」など、日本の自然や四季への関心が特に高い。また、「近代的／先進的な建築物の見物」への関心が相対的に高い一方、「現地のカジュアルな食事」への関心が低いなど、特徴がみられる。

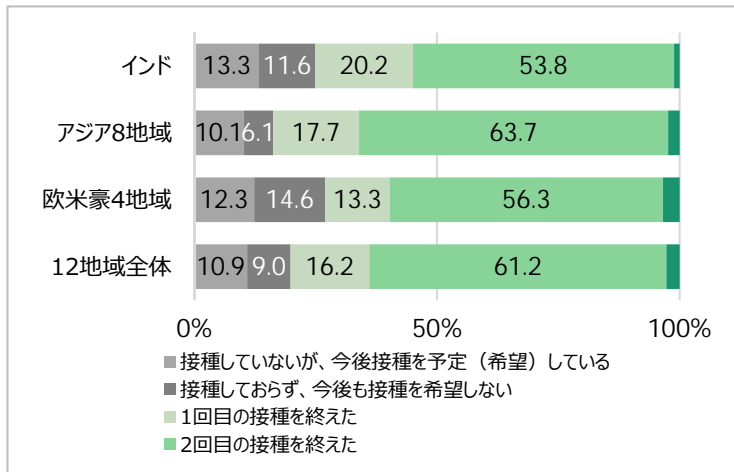
## 今後6ヶ月以内に実施するレジャー



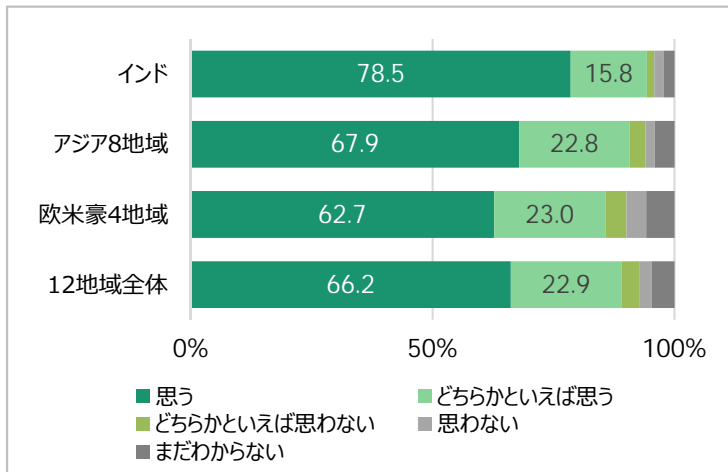
## 新型コロナの感染リスクに対する不安



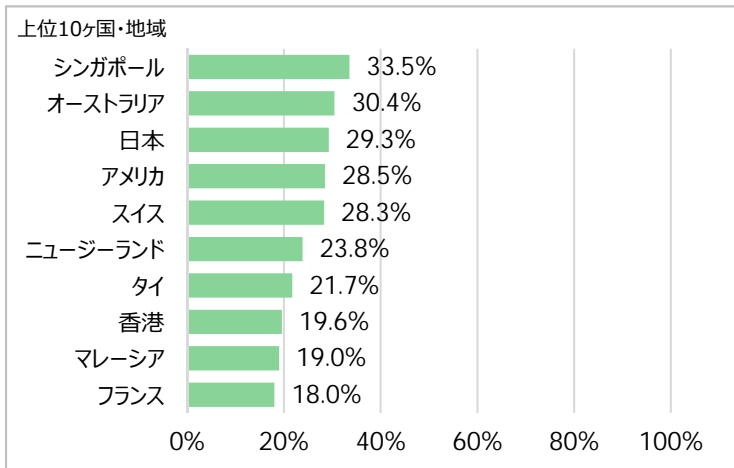
## ワクチン接種状況



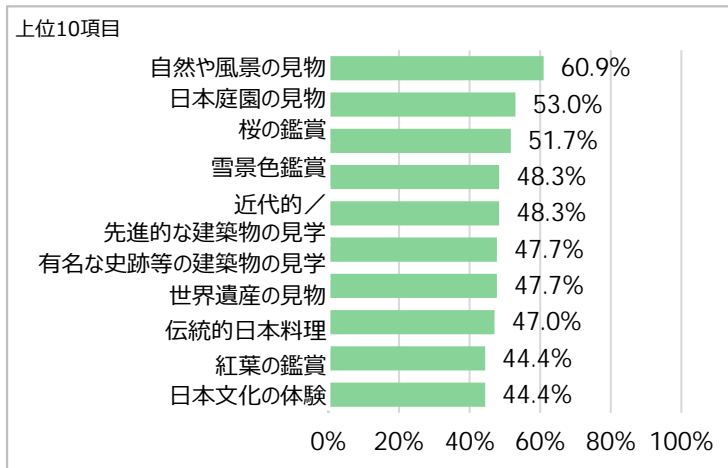
## 新型コロナ収束後の海外旅行の意向



## 次に海外旅行したい国・地域



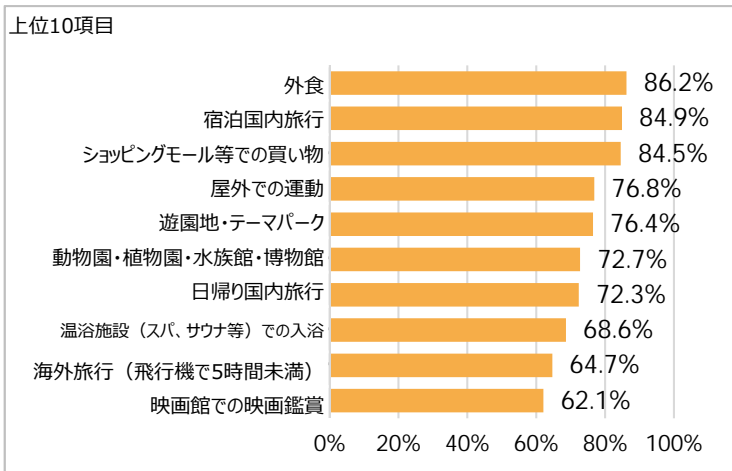
## 日本で体験したいこと



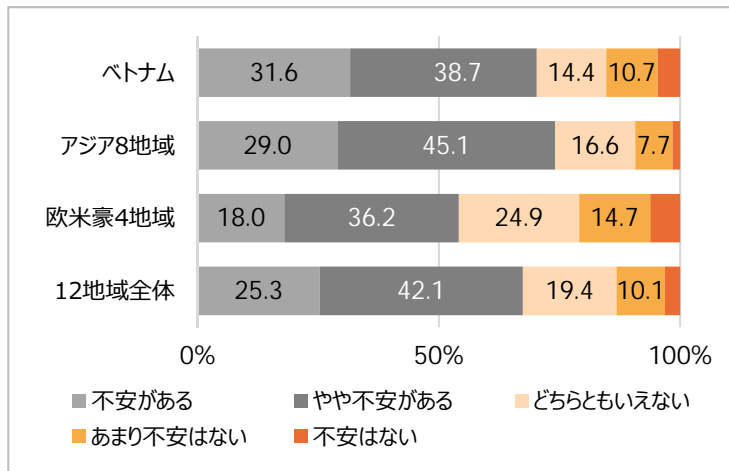
# ベトナム –本調査結果のポイント–

- 足下のレジャー意向の強さは、アジア8地域と同様の水準ながらも、短距離の海外旅行意向は相対的に強い。
- 新型コロナの感染リスクに対する不安度については、アジア8地域と同様の水準。
- 新型コロナワクチン接種率は相対的に高く、新型コロナ収束後の海外旅行意向も非常に強い。
- 次に海外旅行したい国・地域としては、日本がトップで、次いで、韓国、シンガポールと続く。約6割が訪日旅行を希望している。
- 日本で体験したいことは、「桜の観賞」への関心が特に高く、選択率が8割をこえている。日本の自然や食、文化等について、幅広く興味があることがうかがえる。

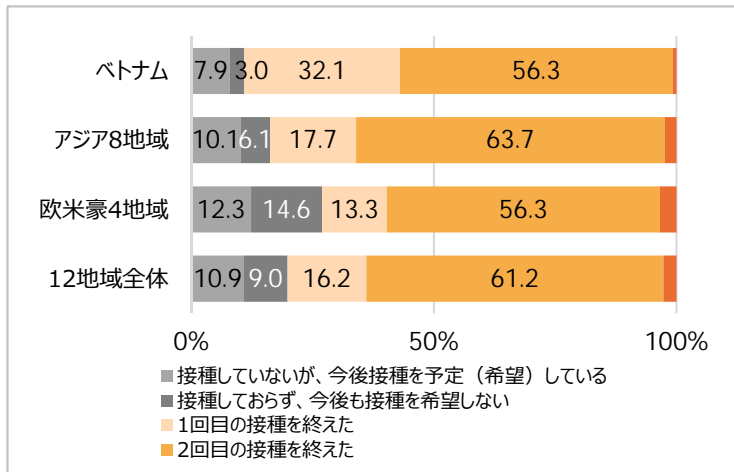
## 今後6ヶ月以内に実施するレジャー



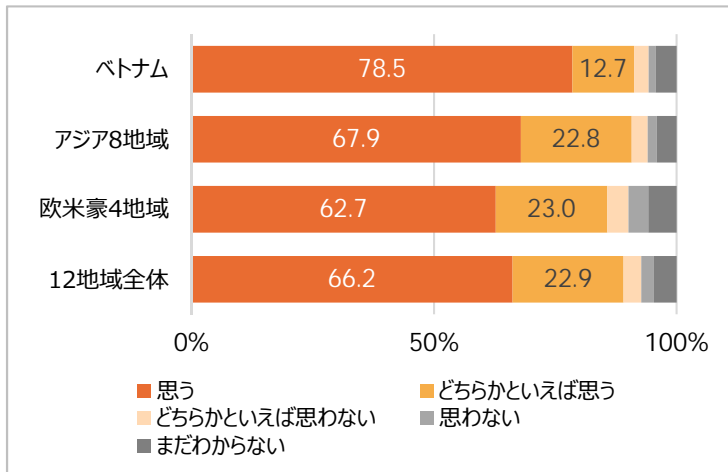
## 新型コロナの感染リスクに対する不安



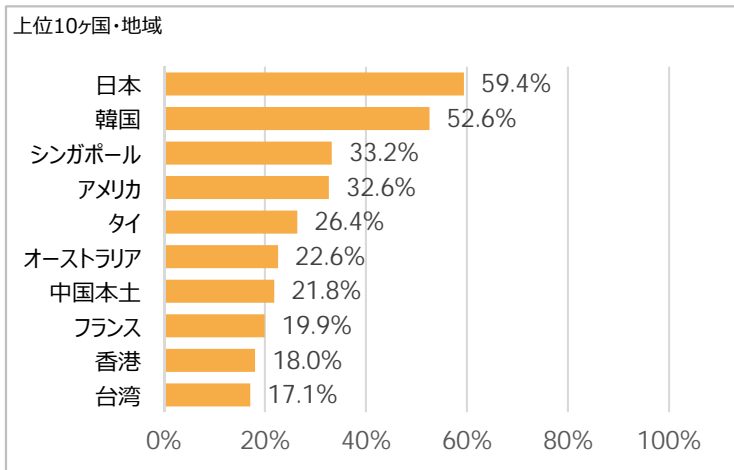
## ワクチン接種状況



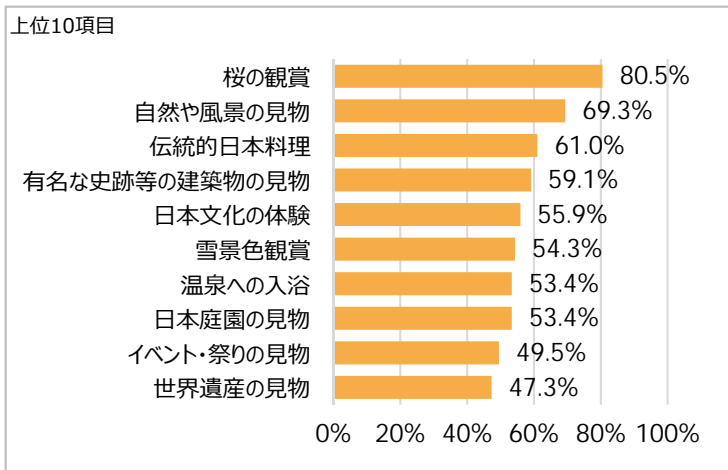
## 新型コロナ収束後の海外旅行の意向



## 次に海外旅行したい国・地域



## 日本で体験したいこと



## 調査の概要・回答者属性

- 調査方法： インターネットによる調査
- 実施時期： 2021年10月5日～2021年10月19日
- 調査地域： インド、ベトナム  
韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア  
アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス
- 調査対象者： 20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者  
(注) 中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く
- 有効回答者数： 上記各地域に居住する住民計 7,355人
- 協力実査会社： 楽天インサイト株式会社

- 当別冊でのアジア8地域とは、本編調査対象の韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア
- 当別冊での欧米豪4地域とは、本編調査対象のアメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス

## ◆有効回答者数 (人)

項目	インド	ベトナム	本編調査対象アジア8地域								本編調査対象欧米豪4地域			
			韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス
男性	261	267	264	265	261	260	260	255	260	261	264	262	259	280
女性	265	268	276	273	260	260	258	252	263	257	266	258	263	252
その他	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
総計	526	535	540	541	521	520	519	507	523	518	530	521	522	532

## ◆訪日経験別回答者数 (人)

項目	インド	ベトナム	本編調査対象アジア8地域								本編調査対象欧米豪4地域			
			韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス
訪日経験あり	102	220	349	379	432	445	289	272	201	166	93	130	82	93
訪日経験者（1回）	41	117	119	169	89	79	117	93	110	94	46	72	52	65
訪日経験者（2回以上）	61	103	230	210	343	366	172	179	91	72	47	58	30	28
訪日経験なし	424	315	191	162	89	75	230	235	322	352	437	391	440	439
総計	526	535	540	541	521	520	519	507	523	518	530	521	522	532

## ◆訪日経験別回答者数（割合） (%)

項目	インド	ベトナム	本編調査対象アジア8地域								本編調査対象欧米豪4地域			
			韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス
訪日経験あり	19	41	65	70	83	86	56	54	38	32	18	25	16	17
訪日経験者（1回）	8	22	22	31	17	15	23	18	21	18	9	14	10	12
訪日経験者（2回以上）	12	19	43	39	66	70	33	35	17	14	9	11	6	5
訪日経験なし	81	59	35	30	17	14	44	46	62	68	82	75	84	83

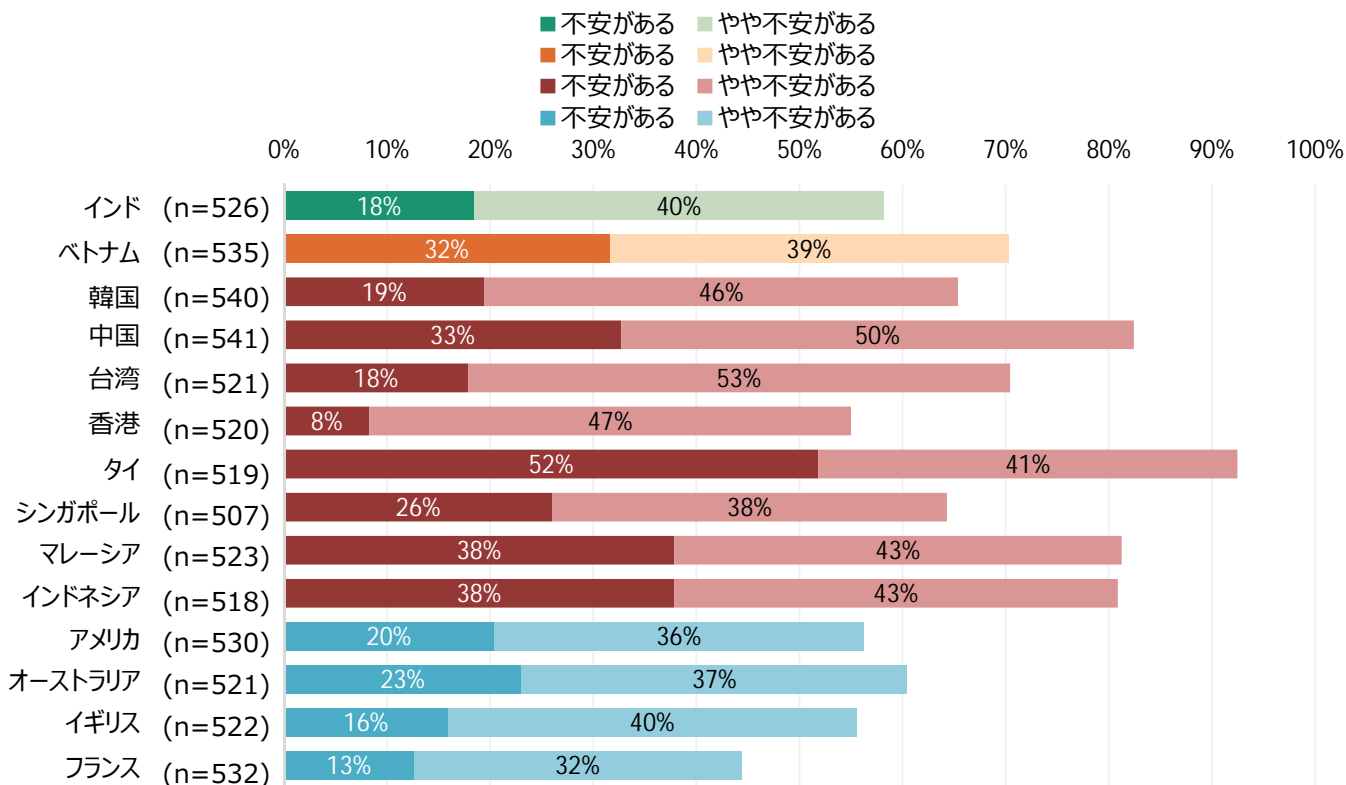
- (注) 選択肢の多い設問については、回答に偏りが出ないよう、回答者ごとに選択肢の順番がランダムに入れ替わる設定とした。  
(注) 割合は、小数点第一位を四捨五入し、整数とした。

# 【調査の概要】

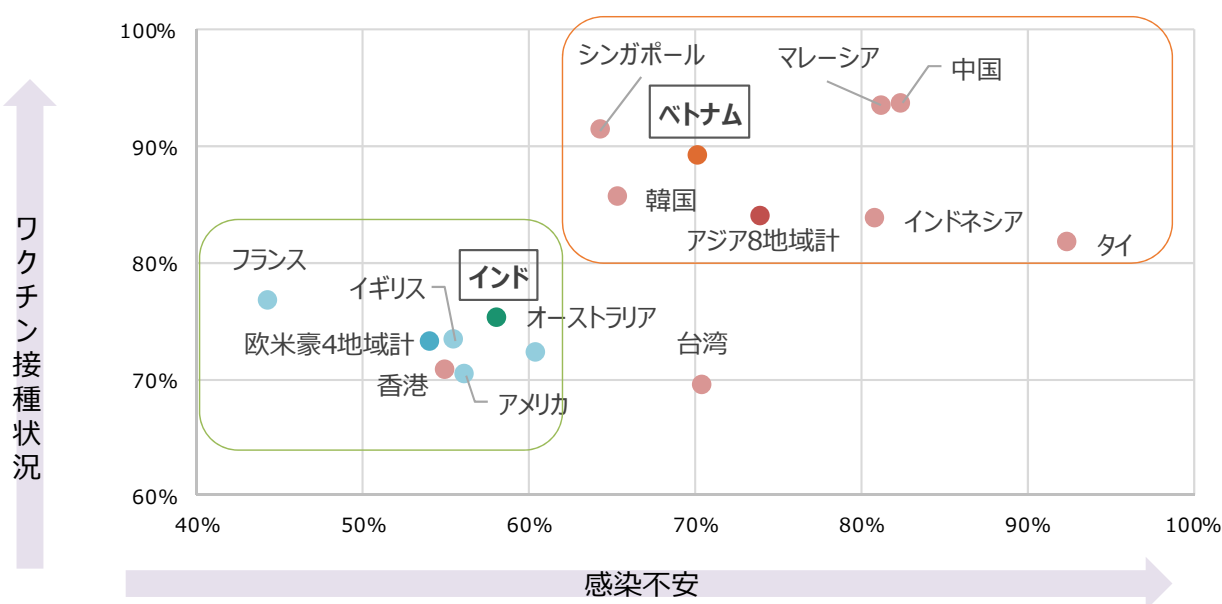
## (1) 新型コロナの感染リスクに対する不安

- 新型コロナの感染リスクに対する不安度について、インドは、アジアより欧米豪の水準に近く、イギリスと同程度である。ベトナムは、欧米豪よりアジア水準に近く、「不安がある」と「やや不安がある」を合わせた割合は、台湾と同程度となっている。
- 新型コロナ感染リスクへの不安と新型コロナワクチン接種状況との関係をも、接種率は相対的に高いが不安も強いアジアのグループ、接種率は相対的に低いが不安も弱い欧米豪のグループに分かれる中で、インドは欧米豪のグループに、ベトナムはアジアのグループに属する。

全員 新型コロナ感染リスクへの不安（回答は1つ）



全員 新型コロナ感染リスクへの不安×新型コロナワクチン接種状況（設問毎に回答は1つ）※1

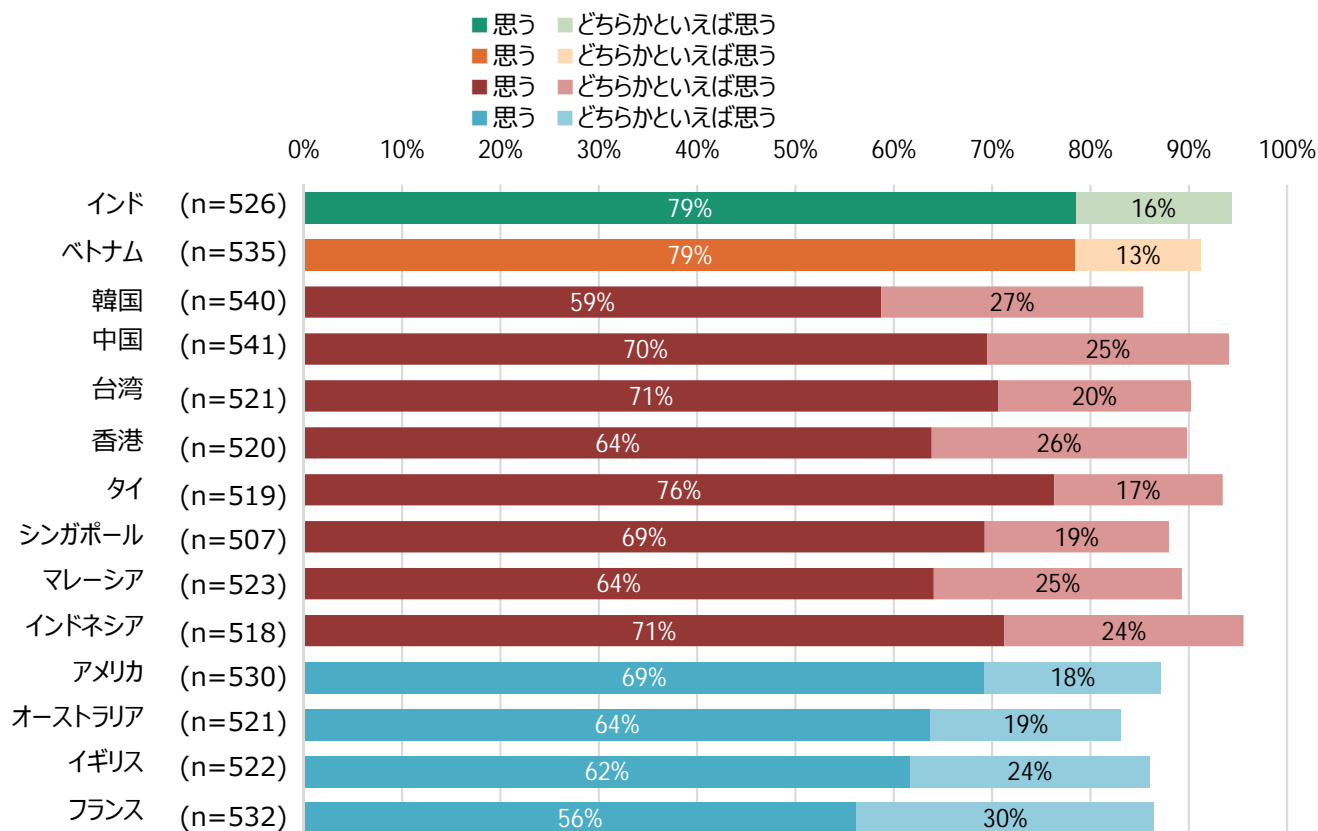


※1 感染不安は「不安がある」「やや不安がある」の合計、ワクチン接種は「1回目の接種を終えた」「2回目の接種を終えた」「3回以上接種をしている」の合計

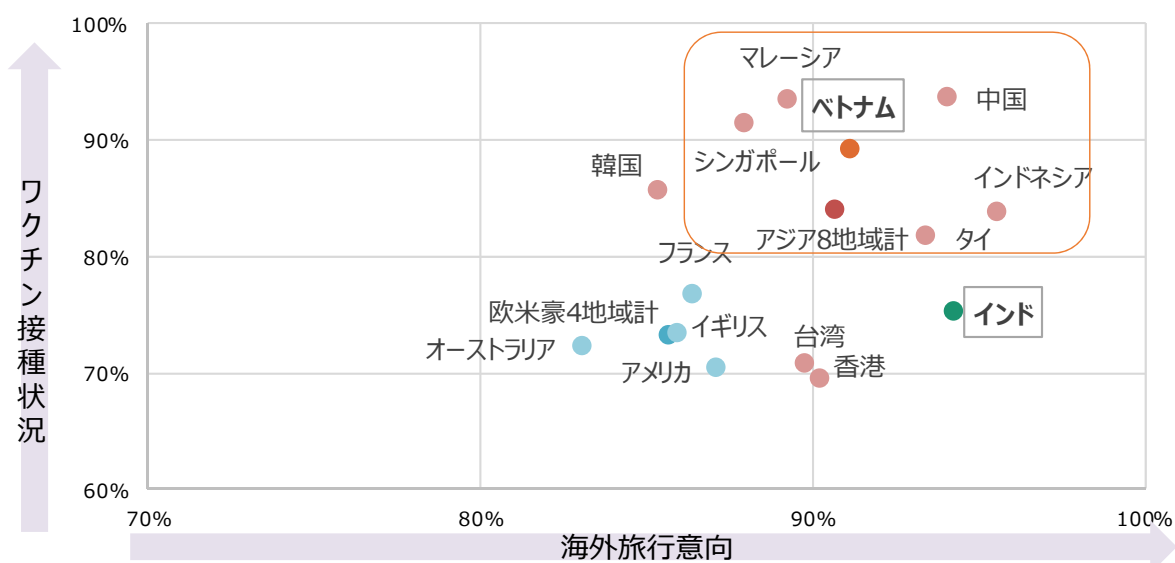
## (2) 新型コロナ収束後の海外旅行の意向

- 新型コロナ収束後の海外旅行の意向は、インド、ベトナムともに強い。特に、「海外旅行したいと思う」の選択率はインド、ベトナムともに79%あり、14地域の中で最も高い。
- 海外旅行意向と新型コロナワクチン接種率の関係をみると、ベトナムは、海外旅行意向が非常に強くワクチン接種率も相対的に高いアジアのグループに属する。

全員 新型コロナの流行が収束し、平常状態に戻ったとき、また海外旅行をしたいと思うか（回答は1つ）



全員 海外旅行意向×新型コロナワクチン接種状況（設問毎に回答は1つ）※1



※1 海外旅行意向は（海外旅行をしたいと）「思う」「どちらかといえば」の合計、ワクチン接種は「1回目の接種を終えた」「2回目の接種を終えた」「3回以上接種をしている」の合計

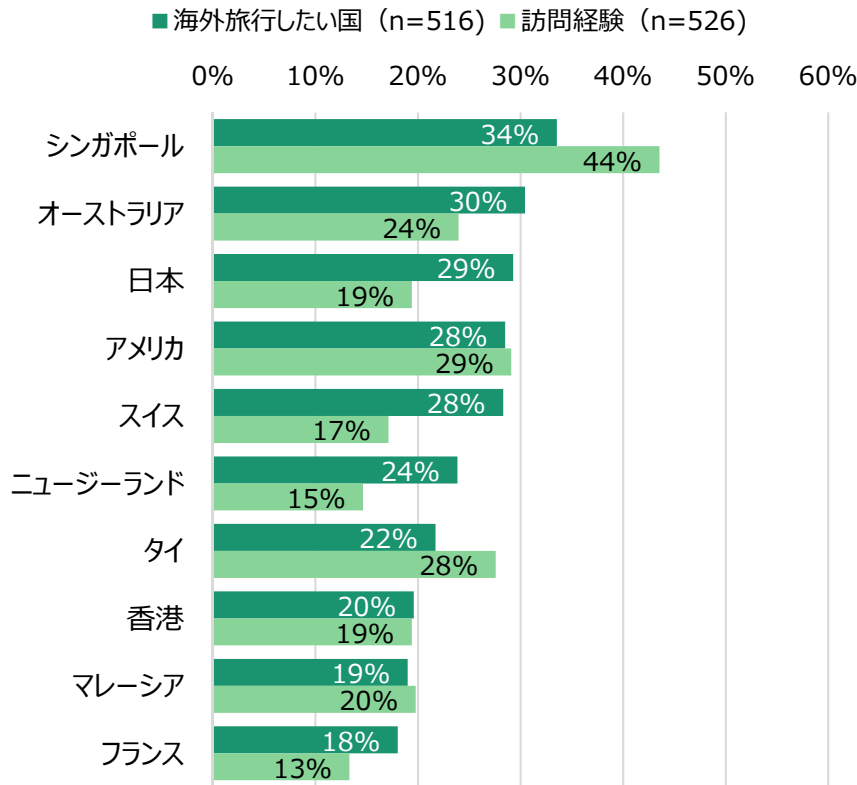
### (3) 次に海外旅行したい国・地域と訪問経験（インド）

- 次に海外旅行したい国・地域は、シンガポールがトップ。次いでオーストラリアで、日本は3位。訪問経験もシンガポールがトップで、次いで、アメリカ、タイが上位となっている。
- 日本への訪問経験率は低位であるものの、訪問意向は相対的に強い。次に行きたい国・地域として、日本への関心が高まりつつあることがうかがえる。

海外旅行希望者※1

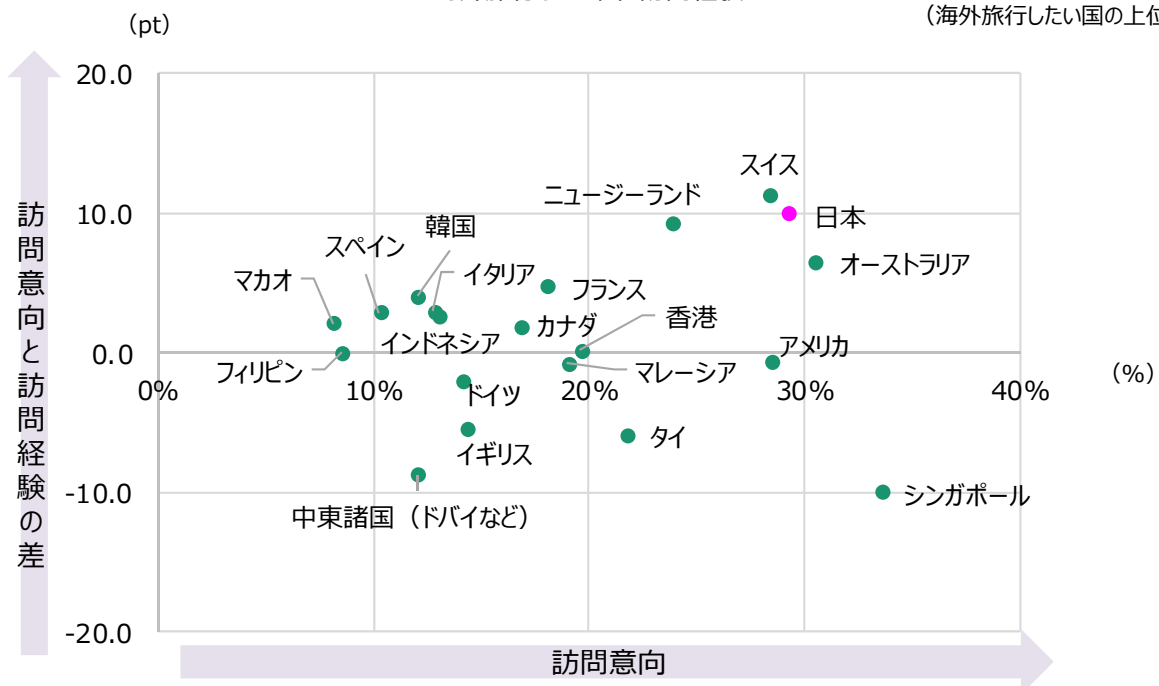
次に海外旅行したい国※2と訪問経験※3

(海外旅行したい国の割合でソート、上位10位まで)



海外旅行したい国と訪問経験

(海外旅行したい国の上位20位まで)



※1 新型コロナウイルス収束後の海外旅行について「(したい) 思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員から回答を得た。回答は最大5つまで。

※2 「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢からは、回答者の国・地域及び近隣の国・地域（中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国）を除いている。

※3 全員から回答を得た。



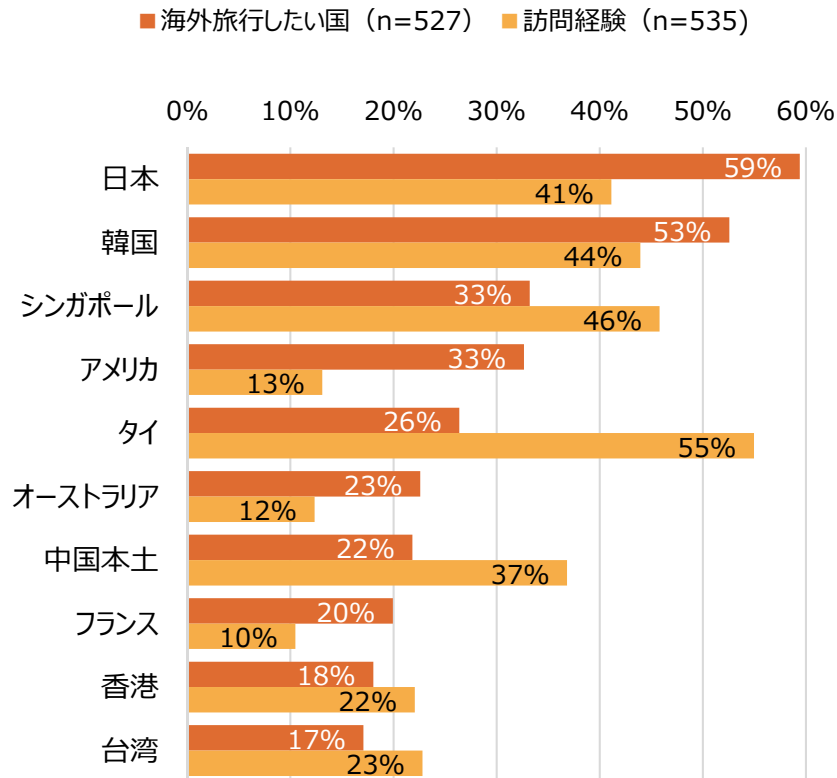
### (3) 次に海外旅行したい国・地域と訪問経験（ベトナム）

- 次に海外旅行したい国・地域は、日本がトップ、次いで、韓国、シンガポールと続く。訪問経験は、タイがトップ、次いで、シンガポール、韓国、日本と続く。
- 日本への訪問経験は相応にあるものの、訪問意向も強い。次に行きたい国・地域として、日本への関心が特に高まっている。

海外旅行希望者※1

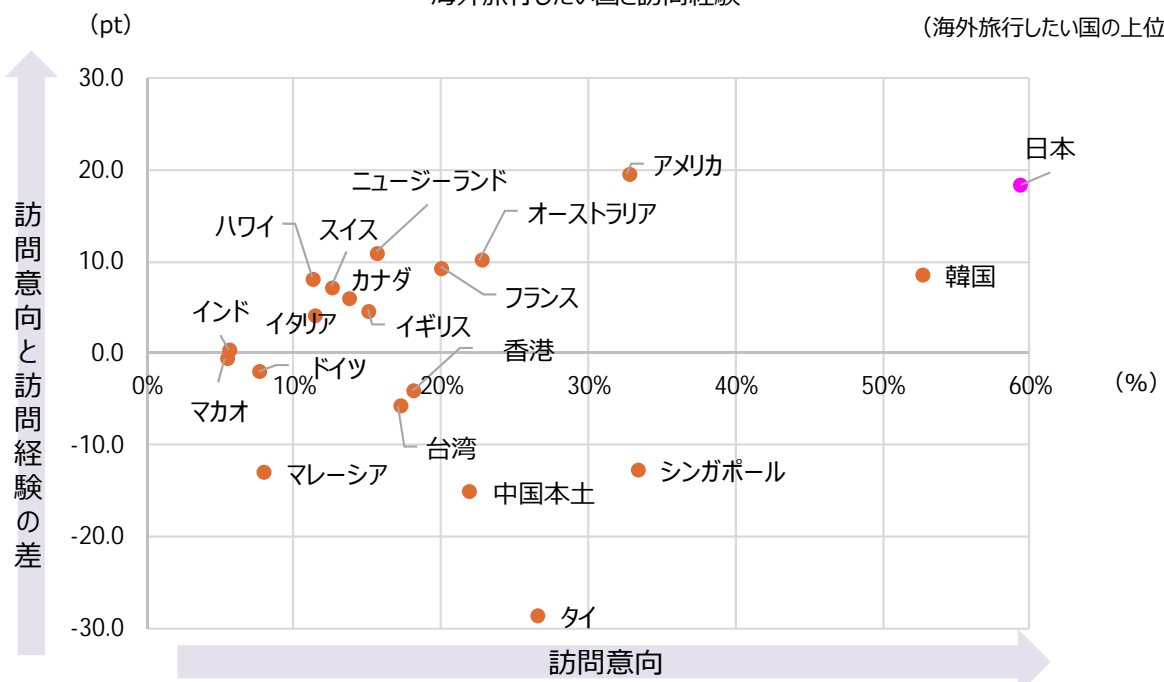
次に海外旅行したい国※2と訪問経験※3

(海外旅行したい国の割合でソート、上位10位まで)



海外旅行したい国と訪問経験

(海外旅行したい国の上位20位まで)



※1 新型コロナウイルス収束後の海外旅行について「(したいと) 思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員から回答を得た。

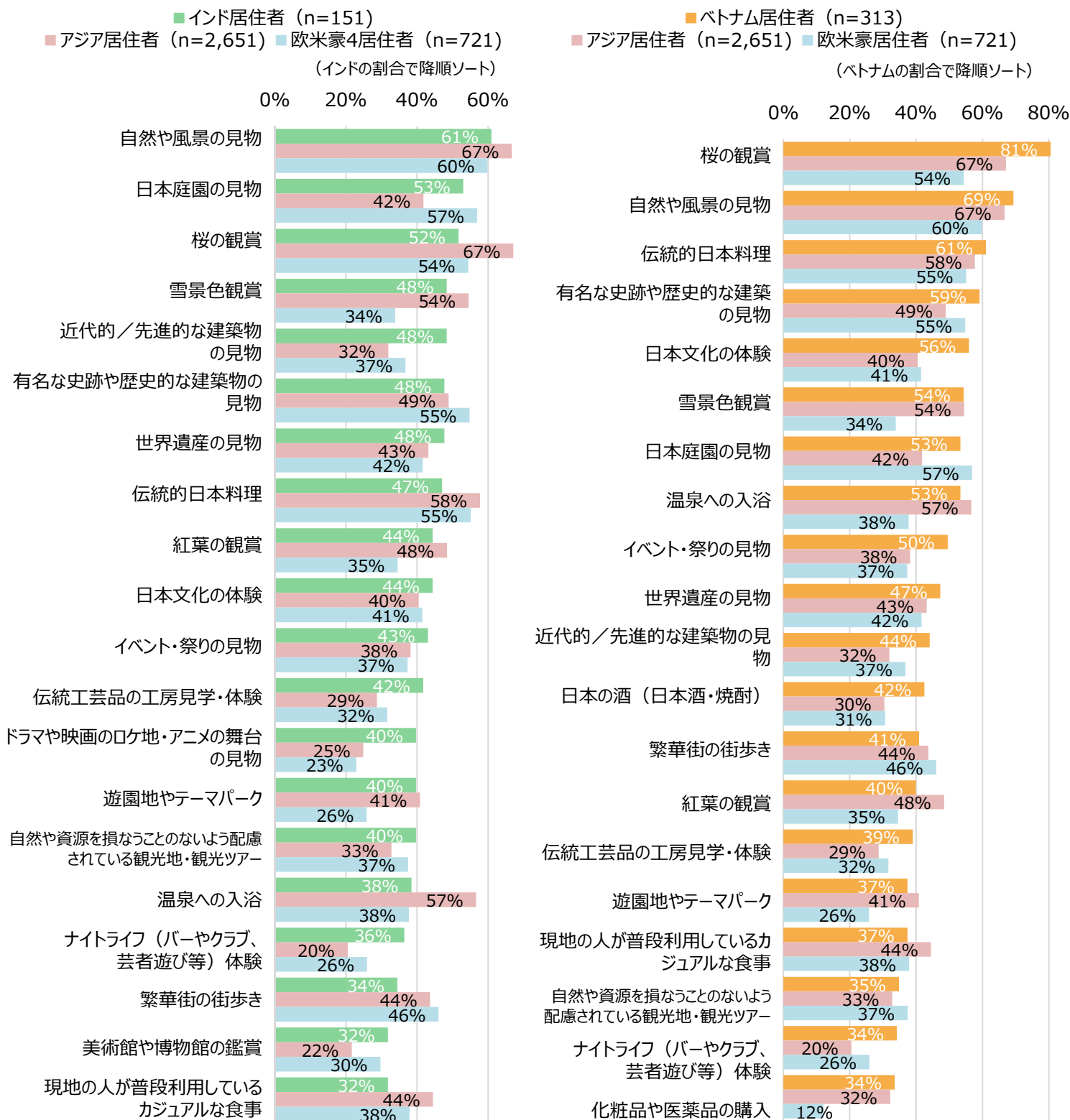
※2 「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢からは、回答者の国・地域及び近隣の国・地域（中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国）を除いている。

※3 全員から回答を得た。

## (4) 日本で体験したいこと

- インドでは、「自然や風景の見物」、「桜の観賞」、「雪景色鑑賞」など、日本の自然や四季に対する関心が特に高い。アジア、欧米豪と比較すると、「近代的／先進的な建築物の見物」への関心が相対的に高い一方、「現地のカジュアルな食事」への関心は相対的に低く、嗜好の違いがみられる。
- ベトナムでは、「桜の観賞」への関心が特に高く、選択率が8割をこえている。アジア、欧米豪と比較して選択率の高い項目が多く、日本の自然や食、文化等について、幅広い興味があることがうかがえる。

訪日旅行希望者 日本で体験したいこと（回答はあてはまるもの全て）



※1 アジア居住者：本編調査対象の韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア居住者の合計

※2 欧米豪居住者：本編調査対象のアメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス居住者の合計

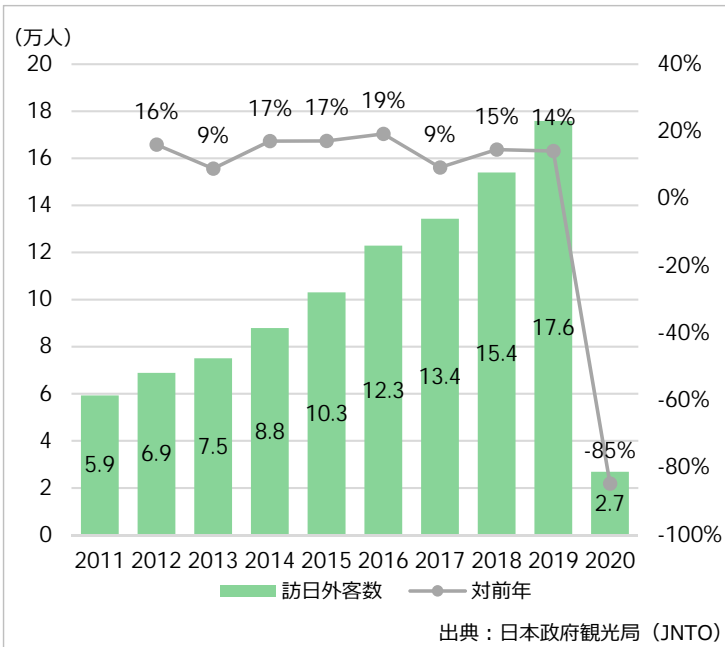
# (参考) インド – 海外旅行・訪日旅行基礎データ

## 基礎データ

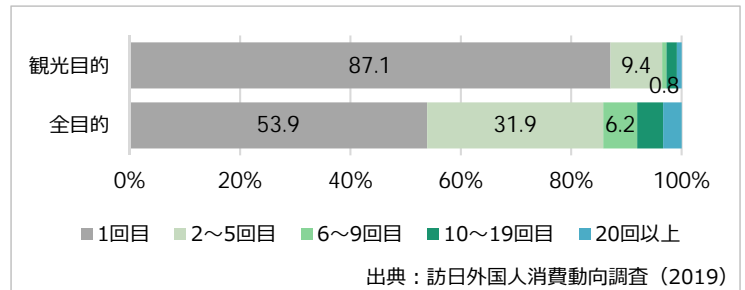
人口※1	13億8,000万人
首都	ニューデリー
国民一人当たりGDP※1	1,927ドル
民族※2	インド・アーリア族、ドラビダ族、 モンゴロイド族等
言語※2	連邦公用語はヒンディー語
宗教※2	ヒンドゥー教徒(79.8%)、イスラム教 徒(14.2%)、キリスト教徒(2.3%)

出典  
 ※1:世界銀行データ（2022年2月時点のデータ）  
 ※2:外務省データ

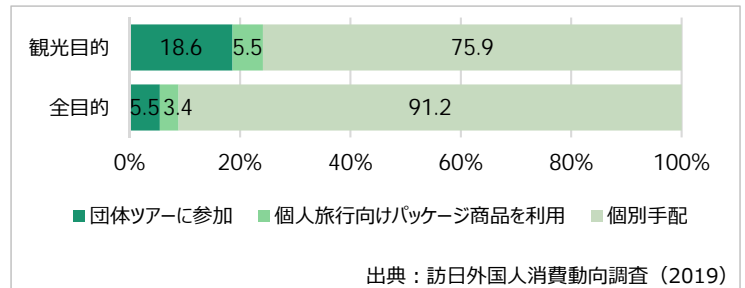
## 訪日客数（経年推移）



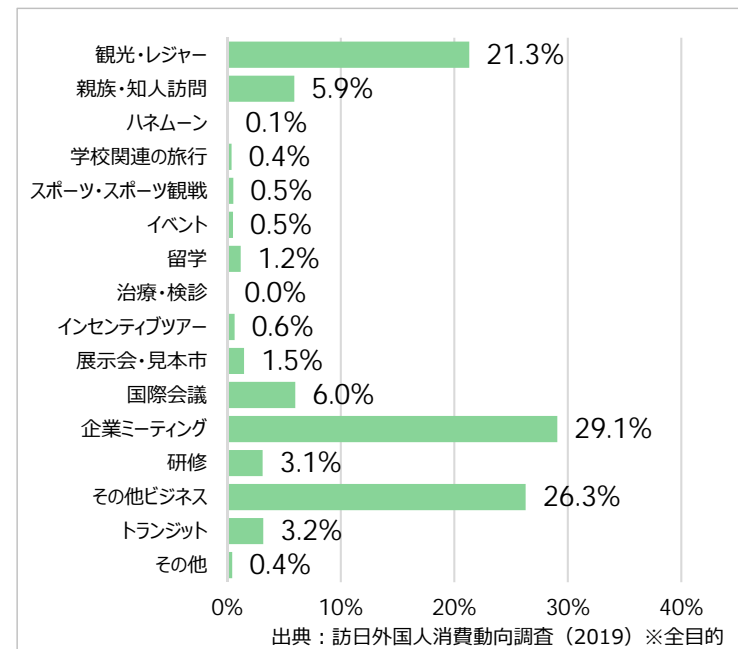
## 訪日回数



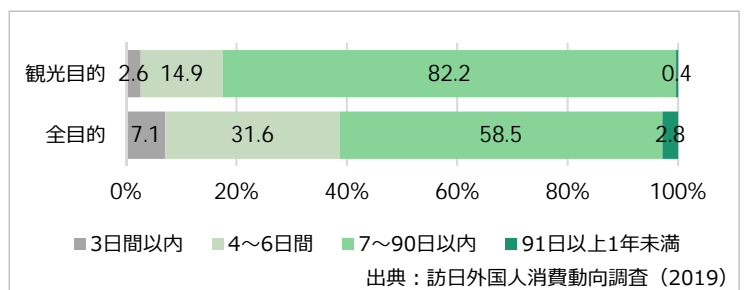
## 旅行形態



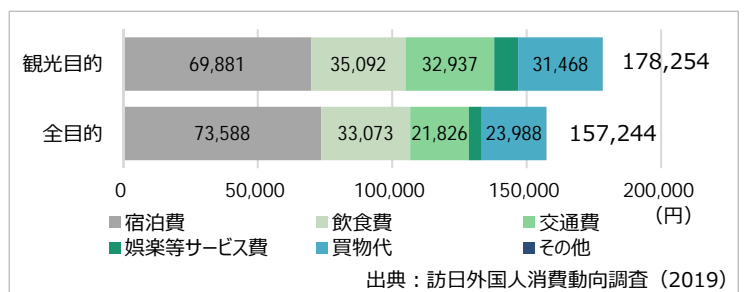
## 主な来訪目的



## 滞在日数



## 旅行支出



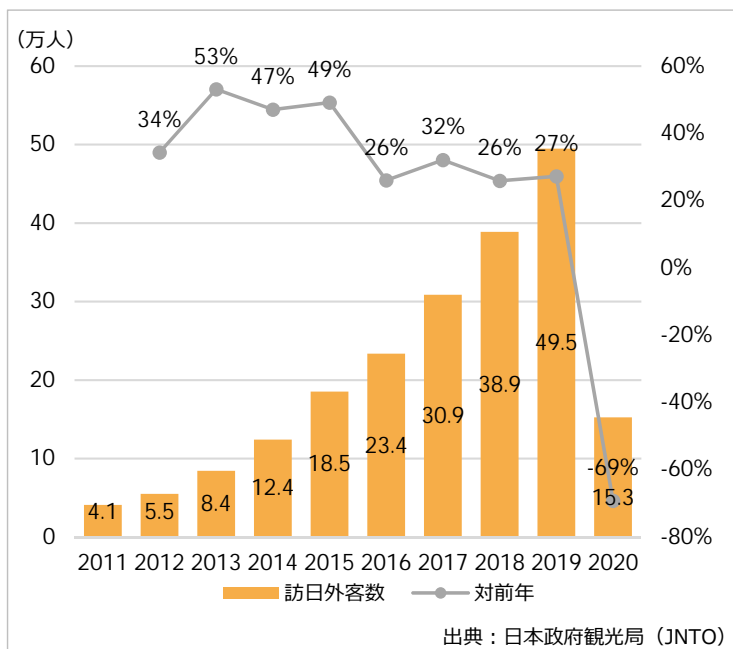
# (参考) ベトナム –海外旅行・訪日旅行基礎データ–

## 基礎データ

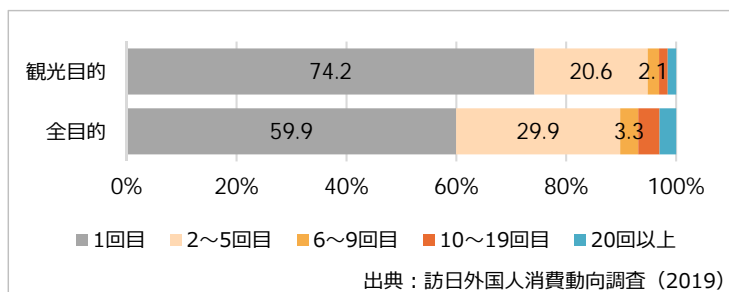
人口※1	9,734万人
首都	ハノイ
国民一人当たりGDP※1	2,786ドル
民族※2	キン族（越人）約86% 他
言語※2	ベトナム語
宗教※2	仏教、カトリック、カオダイ教他

出典  
 ※1:世界銀行データ（2022年2月時点のデータ）  
 ※2:外務省データ

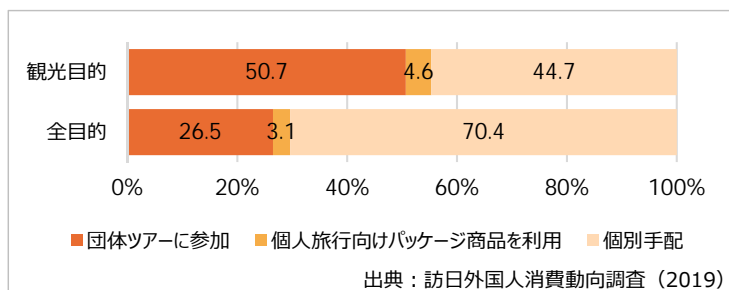
## 訪日客数（経年推移）



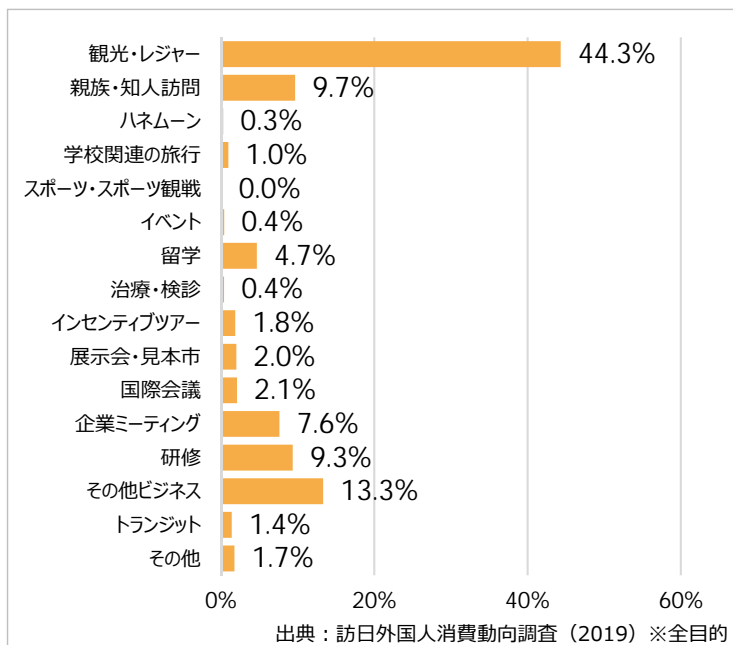
## 訪日回数



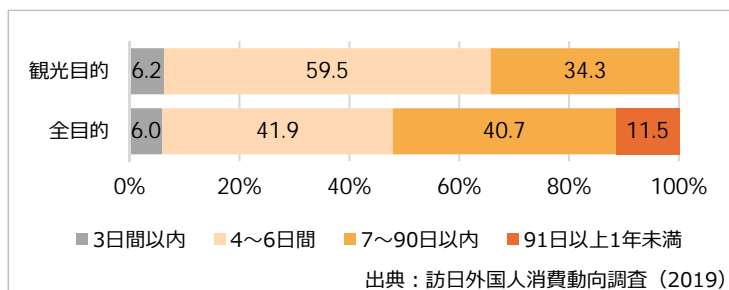
## 旅行形態



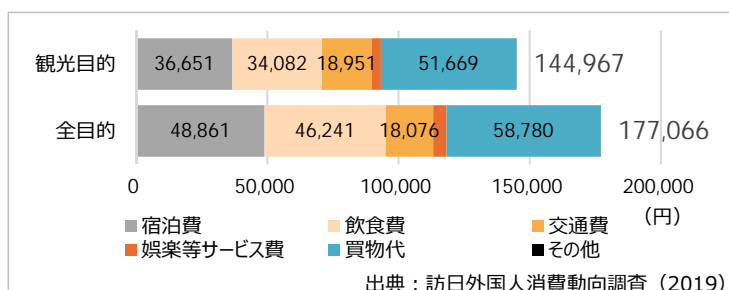
## 主な来訪目的



## 滞在日数



## 旅行支出



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。
- 本資料はDBJ及びJTBFが信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、DBJ及びJTBFがその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：（株）日本政策投資銀行・（公財）日本交通公社と明記して下さい。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

（お問い合わせ先）

株式会社日本政策投資銀行 地域調査部

Tel : 03-3244-1633

HP : <https://www.dbj.jp/>

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部

Tel : 03-5770-8360

HP : <https://www.jtb.or.jp/>